

2015年11月20日

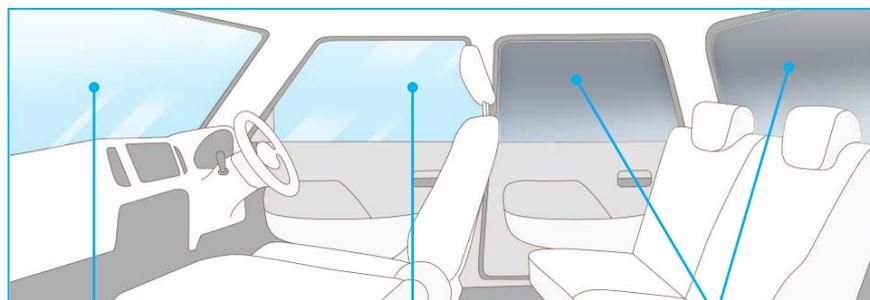
世界初！全周99%UVカットを実現 「UVベール Premium Privashield™」の販売を開始

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社・本社：東京、社長：島村琢哉）は、本年11月から、自動車のリアドアガラス・リアガラスにおいて紫外線（UV）を約99%カット※¹しながら、赤外線（IR）もカットする「UVベール Premium Privashield™（プライバシールド）」の販売を開始します。これにより世界で初めて※²、自動車の全方位からのUV約99%カットを達成しました。

AGCは、2010年に世界で初めてUVカット率約99%※¹を実現したフロントドア用強化ガラス「UVベール Premium®」、また2012年には暑さやジリジリ感の原因となるIRカット機能を加えた「UVベール Premium Cool on®」の販売を開始しています。消費者の健康や美容に対する意識の高まりを背景に、UV・IRカットというニーズに着目して開発したこれらの製品は、現在多くの自動車メーカーで採用されています。

これらの製品でご好評をいただいた機能を後部座席のガラスにも採用したのが「UVベール Premium Privashield™」です。フロントドアガラスの「UVベール Premium Cool on®」、フロントガラスの「ラミセーフ®」や「Cool ベール™」を併せて使用することにより、全方位から降り注ぐUVをカットし、運転席・助手席だけでなく後部座席に座る方のお肌を守ります。



フロントガラス

Cool Verre

中間膜を挟んだ合わせガラスの構造で約99%UVカット。さらに、中間膜にIR吸収剤を練り込むことにより高性能な熱線吸収機能を実現。

フロントドアガラス

UVベール Premium Cool on

従来のUVカットガラスに高性能UV&IR吸収膜をコートし、約99%UVカットと高性能な熱線吸収機能を実現。

リアドアガラス・リアガラス

UVベール Premium Privashield

従来のプライバシーガラスの成分を調整することにより、プライバシー性を保ちながらUVカット率を向上させ、約99%UVカットと高性能な熱線吸収機能を実現。

AGCは、今後も快適性向上に貢献する製品の提供を通じて、経営方針 **AGC plus** の下、世の中に「安心・安全・快適」をプラスしていきます。

※¹ 弊社測定値。ISO9050 基準。 ※² 2015年11月現在、弊社調べ。フロントガラス以外の部位で単板ガラスを使用して世界初。

< 特設WEBサイトはこちら → <http://www.agc.com/uvcut360/> >

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子株式会社 広報・IR室 小林 純一

担当：宮川 TEL:03-3218-5603 Email:info-pr@agc.com

<ご参考> 「UVベール Premium Privashield™」 について

● UV透過率、日射透過率のデータによる違いについて

光学性能比較表 (ガラス板厚 3.1mm、弊社測定値)

製品名	UV 透過率(Tuv)	日射透過率(Te)
マイベール™ (従来のプライバシーガラス)	7%	29%
UVベール Premium Privashield™	1%以下	18%

Tuv : IS09050 基準 (300-380nm)

Te : JIS R3106 基準 (300-2100nm)

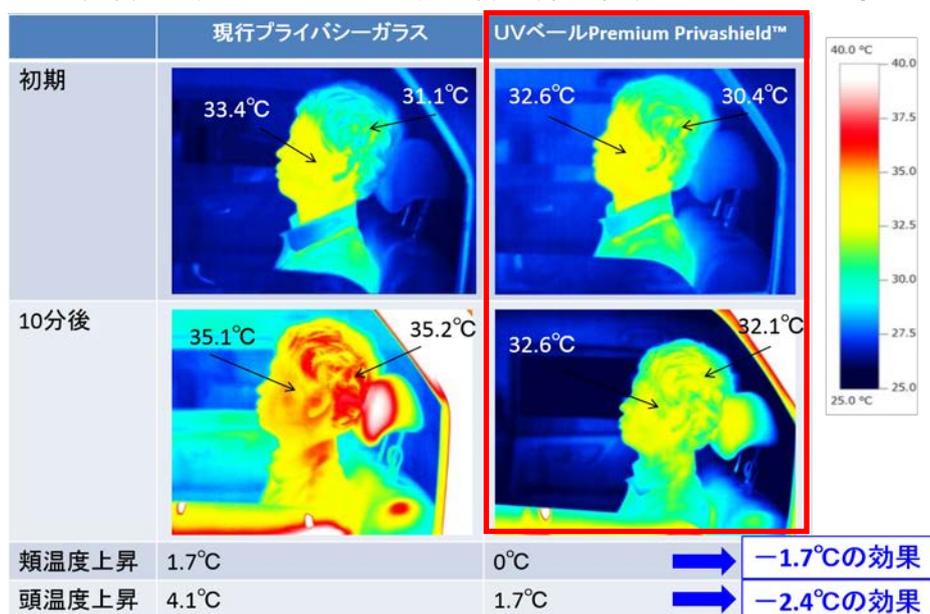
● UVカット率は SPF50+ / PA++++相当

「UVベール Premium Privashield™」は、ガラスを皮膚に密着させた状態で日本化粧品工業連合会の定める測定方式に従い計測した結果、従来のUVベール Premium シリーズ同等の評価である「SPF50+ / PA++++」相当となりました。これにより自動車の全方位で同評価の製品をお使い頂けることになりました。この指標は化粧品や日焼け止めなどの製品が、UVから肌を守る効果を表すものとして広く用いられています。



● 窓越しの太陽光を浴びてもジリジリしにくい、高いIRカット機能

IRカット効果について、実際に後部座席に座った人の体温をサーモグラフィーで測定したところ、従来のプライバシーガラスに比べて、「UVベール Premium Privashield™」は、頬の温度で-1.7℃、頭の温度で-2.4℃の温度上昇の抑制効果がみられました。



*試験環境： 沖縄 真夏相当 (弊社測定値)